

苦情相談テスト

平成26年度における苦情相談テストの総件数は38件であり、前年度と比べて3件の増加となった。分類別では、住居品に関するものが最も多く12件で31.6%を占めた。次いでクリーニング（被服品）に関するものが9件で23.7%であった。

また、38件のうち、原因究明のために独立行政法人国民生活センターへ2件、独立行政法人製品評価技術基盤機構（通称：NITE）北陸支所へ3件のテストを依頼した。

件数 分類(※)	件数		項目数		検体数		件数/全体(%)	
	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
食料品	3	2	6	5	4	6	7.9	5.7
住居品	12	16	15	24	22	24	31.6	45.7
光熱水品	1	2	3	2	1	2	2.6	5.7
被服品	5	4	7	7	27	9	13.2	11.4
保健衛生品	2	1	3	1	7	1	5.3	2.9
教養娯楽品	3	5	3	5	3	6	7.9	14.3
車両・乗り物	1	1	1	1	1	1	2.6	2.9
土地・建物・設備	0	1	0	3	0	2	0.0	2.9
その他の商品	1	0	1	0	1	0	2.6	0.0
クリーニング(被服品)	9	3	10	4	24	5	23.7	8.6
クリーニング(その他)	1	0	1	0	1	0	2.6	0.0
合計	38	35	50	52	91	56	100.0	100.0

※分類は、（独）国民生活センターの「消費生活年報」による

<主なテスト事例>

分類	安全性テスト	品質テスト
食料品	ようかんのかび	サプリメントのにおいなど
住居品	オーブントースターの発火など	炊飯器の性能など
光熱水品	水道水の異物	-
被服品	-	安全靴の品質など
保健衛生品	替え歯ブラシの安全性	タオルの品質
教養娯楽品	スマートフォンの安全性	デジタルビデオカメラの不具合
車両・乗り物	バイクの部品の欠陥	-
その他の商品	-	クローゼットの虫
クリーニング(被服品)	-	コートの変色など
クリーニング(その他)	-	シーツの変色